

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多運輸香椎浜物流施設 新築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭二丁目15番14	構造	S造
用途地域	準工業地域・臨港地区・景観計画地	平均居住人員	26人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,112時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年8月6日
敷地面積	8,076㎡	作成者	小林 正幸
建築面積	4,302㎡	確認日	2020年8月6日
延床面積	16,781㎡	確認者	小林 正幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地外周に植栽を配置し、また、シンプルな外観とすることで周辺環境への配慮を図りつつ、LED照明等の省エネ性能向上を図る設備機器の採用により、LCCO2の排出率を抑える計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界沿いの緑化により、周辺環境への圧迫感等を考慮した計画とした。
LR1 エネルギー	効率的な設備機器(LED照明等)の選定により省エネを図る計画とした。	LR3 敷地外環境 建物の省エネ性能を高めて、ライフサイクルCO2排出率を抑えた計画とした。
Q2 サービス性能	階高をゆとりのある高さとし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	汚染物質含有材料を使用しない計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される